

## 調べ案内

作成者：戸田市立図書館／作成日：2018年4月1日



みょうけんじ

# 妙顕寺関連史料を調べるには

〒335-0021 戸田市大字新曾1707 TEL442-2800 HP <https://library.toda.saitama.jp/>

妙顕寺は、戸田市で唯一の日蓮宗の寺院です。市内の寺院の中では歴史が古く、創建は鎌倉時代にさかのぼるといわれています。様々な記録に登場するほか、古文書等も残されています。

## 「妙顕寺」について調べるためのキーワード

妙顕寺、<sup>にいぞ</sup>新曾村、戸田市、日蓮宗、地誌

オンライン目録(OPAC)、インターネット及び各種データベースを検索する際の参考にしてください。

## テーマの棚に行って本を探す

●図書館の本は一冊ずつ分類記号が付いています。棚の本は分類記号の番号順に並んでいます。「妙顕寺」に関する資料には、以下の分類記号が付いています。本を探すときの目安にしてください。

「妙顕寺」に関する主な分類記号 ※これがすべてではありません。

081	全集	185	寺院	213.4	埼玉県の歴史
291.34	埼玉県の地誌	382	風俗史、民俗誌		

■江戸時代及び明治時代頃の妙顕寺関連史料を調べるときは、全集、埼玉県の歴史及び埼玉県の地誌を探しましょう。次ページ以降のリストは、各項目とも本がある場所ごとに分類記号順に並んでいます。

## ◆全集

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『 <sup>かりょう</sup> 嘉陵紀行』第3篇 (『江戸叢書』巻の1所収)	日本図書センター	1980	R081	本館地下参考図書
	『嘉陵紀行』は、文政12年(1829)頃、村尾嘉陵が記した地誌です。 <b>p.121-128「新曾妙顕寺詣の記 文政十一年戊子十月」</b> 「江戸近郊道しるべ」とも言います。新曾妙顕寺にお礼詣 <sup>もろう</sup> でに行く様子が書かれています。			

## ◆地誌

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『江戸名所 <sup>え</sup> 図会』巻之4 (『日本名所風俗図会』4所収)	角川書店	1980	R291.0	本館2階・参考資料室
	『江戸名所図会』は、文政12年(1829)に成立した絵図を多く用いた地誌です。 <b>p.394-395「<sup>ちようせいざん</sup>長誓山妙顕寺」</b> 江戸とその近郊の名所の一つとして妙顕寺が登場し、当時の概観及び由来が紹介されています。 <b>検索のヒント</b> : 索引で「妙顕寺」を探します。			

## ◆埼玉県関連の郷土資料

[埼玉県の歴史の本で調べる。]

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『新編埼玉県史』資料編10	埼玉県	1979	T213.4	本館2階・郷土資料架
	『武蔵志』は、福島東雄が書いた地誌です。江戸時代後期の武蔵国各村の状況について書かれています。 <b>p.150「<sup>むさしし</sup>武蔵志」</b> 妙顕寺の所在地、所領、山号、開山、寺宝等について書かれています <b>検索のヒント</b> : 妙顕寺は、足立郡新曾村にあります。			
『新編埼玉県史』資料編18	埼玉県	1987	T213.4	本館2階・郷土資料架
	<b>p.575「12 妙顕寺[戸田市]」</b> 「身延山久遠寺日遠書状」、「身延山久遠寺日奠書状」及び「妙顕寺日念書状」2点の翻刻が載っています。 <b>検索のヒント</b> : 目次で「日蓮系」のページを探します。			
『埼玉県史料叢書』5	埼玉県	2001	T213.4	本館2階・郷土資料架
	「管轄沿革考」は、明治元年(1868)から明治41年(1908)まで、各宿村の管轄がどのように変遷したかを調査したものです。 <b>p.251「管轄沿革考」</b> 表から、明治4年(1871)2月まで新曾村の内18石が妙顕寺領であったことが分かります。 <b>検索のヒント</b> : 「埼玉県史料索引」で「寺院」の中から「妙顕寺」を探します。			

[▲ページのトップに戻る。](#)

ぶこう 『武江年表』 2	平凡社	2004	T213.6	本館2階・郷土資料架
	<p>『武江年表』は、正編は嘉永元年(1848)、続編は明治 11 年(1878)、斎藤月岑により編纂された江戸市内外のできごとを年表体で記したものです。</p> <p>p.121「嘉永三年[1850] 庚戌三月三日」  <small>かのえいね</small></p> <p>これによると、嘉永 3 年(1850)3 月 3 日から、浅草寺町の正覚寺において、妙顕寺の祖師開帳が行われたことが分かります。文中では、妙願寺になっています。</p>			

[地誌で調べる。]

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
しんべんむさしふどきこう 『新編武蔵風土記稿』 第 7 卷 (大日本地誌大系 13)	雄山閣	1996	T291.3	本館2階・郷土資料架
	<p>『新編武蔵風土記稿』は、文政 11 年(1829)に成立した江戸幕府編纂の武蔵国に関する地誌です。</p> <p>p.231「妙顕寺」(「新曾村-寺院」内)</p> <p>妙顕寺の宗派、本寺、山号、領地、本尊、創建にまつわる伝承について書かれています。</p> <p>検索のヒント: 妙顕寺は、足立郡新曾村にありました。</p>			
べん 『新篇武蔵風土記稿』 5	歴史図書社	1969	T291.3	本館2階・郷土資料架
	<p>p.535-536「妙顕寺」(「新曾村-寺院」内)</p> <p>妙顕寺の宗派、本寺、山号、領地、本尊、創建にまつわる伝承について書かれています。</p> <p>検索のヒント: 妙顕寺は、足立郡新曾村にありました。</p>			
『武蔵国郡村誌』 第 1 卷	埼玉県立図書館	1953	T291.3	本館2階・郷土資料架
	<p>『武蔵国郡村誌』は、明治 8 年(1875)に埼玉県が作成し国に提出した地誌です。</p> <p>p.231-232「妙顕寺」(「新曾村-仏寺」内)</p> <p>面積、寺の方角、宗派、本寺、開山・開基、創立年及び『新編武蔵風土記稿』の創建にまつわる伝承を紹介しています。</p> <p>検索のヒント: 妙顕寺は、足立郡新曾村にありました。</p>			
『北足立郡誌』	名著出版	1972	T291.3	本館2階・郷土資料架
	<p>『北足立郡誌』は、北足立郡役所が編纂した郡制(1890~1923)廃止までの北足立郡に関する地誌です。</p> <p>p.288-289「二、妙顕寺」(「第二、著名の寺院」内)</p> <p>妙顕寺の宗派、所在地、本尊及び『新編武蔵風土記稿』に書かれた創建にまつわる伝承を紹介しています。</p> <p>検索のヒント: 目次「社寺」の中から「寺院」を探します。</p>			

[▲ページのトップに戻る。](#)

## ◆戸田市関連の郷土資料

[寺院関係の本で調べる。]

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市の寺社』	戸田市教育委員会	1985	T185.9	本館2階・戸田市関連郷土資料
	<p>p.28-29「11 妙顕寺」  「沿革」の項目に『新編武蔵風土記稿』、『武蔵国郡村誌』及び『寺院明細帳』*1の妙顕寺に関連する記事が抜粋されています。  <b>検索のヒント</b>: 寺院の中から新曽にある「妙顕寺」を探します。</p>			

[埼玉県の歴史の本で調べる。]

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市史』 民俗編	戸田市	1983	T213.4	本館2階・戸田市関連郷土資料
	<p>p.1323「武蔵志」、p.1327-1328「新編武蔵風土記稿」、p.1336「武蔵国郡村誌」、p.1362-1363「寺院明細帳」、p.1372-1373「宗門第一子安之霊場略縁記」*2  妙顕寺に係る史料が『戸田市史』民俗編の付録にまとまっています。ただし、全文が抜粋されているとは限りません。</p>			

[地誌で調べる。]

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『江戸近郊道しるべ』	平凡社	1985	T291.3	本館2階・戸田市関連郷土資料
	<p>『江戸近郊道しるべ』は、村尾嘉陵が記した地誌です。別名『嘉陵紀行』。  p.191-195「新曾妙顕寺詣の記 文政十一年戊子十月」  新曾妙顕寺にお礼詣<sup>もつ</sup>で行く様子が書かれています。</p>			

[民俗関係の本で調べる。]

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『新曾・上戸田の民俗』	戸田市	1987	T382.1	本館2階・戸田市関連郷土資料
	<p>p.170-171「(4)寺と堂」  『新編武蔵風土記稿』の妙顕寺に係る記事が紹介されています。なお、実際の記述は送り仮名がカタカナ表記ですが、こちらはひらがな表記になっています。  <b>検索のヒント</b>: 目次で「信仰」を探します。</p>			

\*1『寺院明細帳』は、明治12年内務省通達によって、埼玉県が作成した寺院の明細帳です(『戸田市史』民俗編 p.1318)。

\*2『宗門第一子安之霊場略縁記』は、新曾の妙顕寺の縁起です(『戸田市史』民俗編 p.1319)。

[▲ページのトップに戻る。](#)